

2016 年 公益財団法人信頼資本財団 事業報告書

目次

	ページ
I. 基本方針	2
II 事業内容	
1. 融資事業(公益目的事業1)	2-5
2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)	5-6
3. 助成事業(公益目的事業3)	6-11
4. 社会的事業調査・研究・事業計画・提携事業(収益事業1)	11
5. 社会企業家育成事業(収益事業2)	11-16
6. 会員制度、寄付獲得事業	17
III. 管理部門	
1. 業務執行体制	18

【添付資料】

添付資料 1 2016 年 正味財産増減表内訳

添付資料 2 2016 年 貸借対照表内訳

I. 基本方針

・2014 年以降、重点的に取り組んできた社会的事業家の育成とそのネットワーク化に継続して取り組み、社会的事業家が活躍しやすい土壌作りに取り組んだ。

・当法人の設立目的である、信託資本制度充実を目的とした良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産(無形資産)の創出や蓄積をと共に、信託資本制度充実のための相互扶助ネットワーク確立に取り組んだ。

・さらに、当年度の事業目標にならい、人が自らの喜びを動機として社会的行動ができるための支援活動として、寄付商品の開発、郊外や運営するコミュニティスペース活用を通じた財団活動への主体的な参画者増加をはかり、社会的事業家とその応援者のプラットフォーム構築に取り組んだ。

II. 事業内容

1. 融資事業(公益目的事業1)

豊かな人間関係の回復の向上に資する社会福祉、教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、または自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業や人間と自然の共生、地域活性化に資するような第一次産業などの社会的事業に対し無利子・無担保で融資を行った。

1-1. 財団融資

■実績

※全融資先からの返済に関して、当年度内に貸倒等は発生しなかった。

融資実施件数： 40 件

融資実施団体数： 29 団体

融資実績額： 92,570,000 円

融資未返済額： 2,660,000 円

① 通常融資

【第 15 期募集】

- ・受付期間： 2016 年 1 月 6 日(水)～ 2016 年 3 月 25 日(金) ※郵送物〆切： 3 月 28 日(月)
- ・審査会日： 2016 年 6 月 17 日(金)
- ・応募件数： 3 件
- ・一次(書類)審査合格件数： 2 件

- ・当期実施件数：1 件

└融資対象者：合同会社 nimai-nitai

代表者名：廣中桃子

所在地：滋賀県近江八幡市出町 59

事業内容：インド最貧困州といわれるビハール州ブッダガヤを拠点に、村の女性たちに裁縫の技術指導をしながらオリジナルブランド「nimai-nitai(ニマイニタイ)」のアパレル衣料・雑貨を商品企画・生産し、販売。

「ひとりの人に出会うように、ひとつのモノに出会う」をコンセプトに、インドに伝わる手仕事の素材を活かして、生産背景を大切にしたモノづくりを行い、農村地域で雇用を生み出すことで、現地の人々の経済的自立による貧困解決を目指す。デザイン力や品質の高い製品を作ることにより、デパートやギャラリー等での販売を展開。

契約時期：2017 年 1 月(予定)

返済額：1,000,000 円

返済期間：12 ヶ月

【第 16 期募集】

- ・受付期間：2016 年 8 月 1 日(月)～ 2016 年 9 月 28 日(水) ※郵送物〆切：9 月 30 日(金)
- ・審査会日：2016 年 12 月 15 日(木)
- ・応募件数：2 件
- ・一次(書類)審査合格件数：1 件
- ・当期実施件数：1 件

└融資対象者：一般社団法人くじら雲

代表者名：片桐直哉

所在地：京都府京都市北区紫野中柏野町 16-9

事業内容：下記の事業を中核として、地元商店街の界限にて、子どもたちと、その子どもたちを見守る大人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくりを実施。

- ①放課後等デイサービス事業(障害のある 6 歳～18 歳の子どもたちの学童保育)
- ②児童発達支援事業(障害のある未就学児童の通所支援)
- ③民間学童保育事業(近隣のスペースを活用)

職員と子どもたちだけで過ごす施設をつくるのではなく、商店街を歩きかう人や学生、地域の住民などの方々が共につどい、子どもたちを見守り関われる場をつくり、事業を通して法人の理念である「地域に暮らす一人ひとりが共に支え合うことのできる社会」の実現を目指す。

契約時期：2017 年 1 月(予定)

返済額：3,000,000 円

返済期間：24 ヶ月

【継続実施】 5 件

- ↳ 認定 NPO 法人箕面こどもの森学園(融資額 1,000,000 円/期間 2016 年 3 月 31 日～2017 年 2 月 28 日)
- ↳ 株式会社HubTokyo(融資額 1,000,000 円/期間 2014 年 9 月 3 日～2016 年 8 月 31 日)
- ↳ 株式会社和える(融資額 1,000,000 円/期間 2014 年 3 月 10 日～2016 年 2 月 28 日)
- ↳ 株式会社ソノリテ(融資額 700,000 円/期間 2015 年 8 月 31 日～2016 年 1 月 31 日)
- ↳ 一般社団法人スマイルゲート(融資額 1,000,000 円/期間 2013 年 12 月 24 日～2016 年 1 月 31 日)

② 国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資(以下:つなぎ融資という)

【募集】 随時

- ・応募件数: 1 件
- ・新規実施件数: 1 件

↳ 融資対象者: 特定非営利活動法人英田上山棚田団

代表者名: 猪野全代

所在地: 岡山県美作市上山2135番地

事業内容: 下記の通り。

- (1)岡山県美作市上山地区の棚田の再生をはじめとする農林業の振興、自然エネルギーの活用や水資源の確保による里山の環境の保全。
- (2)地元の資源を活用した農林業体験やツーリング、古民家を利用したカフェや民宿、陶芸などの各種のワークショップ、棚田を使ったコンサートなどのイベントの開催など新しいコンテンツの提供。

契約日: 2016 年 7 月 20 日

返済額: 2,500,000 円

返済期間: 10 ヶ月

【継続実施】 1 件

↳ 特定非営利活動法人英田上山棚田団(融資額 3,000,000 円/2015 年 7 月 13 日～2016 年 3 月 31 日)

1-2. 金融機関との協働融資(京都信用金庫、以下京信、との協働融資)

融資は京都信用金庫から実施される。当財団は一次審査を行い、二次審査を京都信用金庫が行う。融資が決定した事業者は、京都信用金庫に利子を支払うが、当財団が利子相当額を当該事業者に助成することによって、当該事業者は、無利子・無担保で融資を受けることができる。

今年度は 1 件の応募があったが、現段階にて当事業を通しての支援は不要と判断された。

【募集】 随時

- ・応募件数: 1 件
- ・審査合格件数: 0 件
- ・新規実施件数: 0 件

【継続実施団体】 2 件

└助成対象者(継続):株式会社坂ノ途中

- ・助成期間: 2013 年 10 月 31 日～2018 年 10 月 20 日
- ・助成額: 51,200 円(2015 年 10 月～2016 年 9 月間、12 ヶ月の融資返済にかかる利子分を補填)
- ・実施日: 2016 年 8 月 31 日,2016 年 10 月 31 日

└助成対象者:NPO 法人エクスクラメーションスタイル

- ・助成期間: 2014 年 5 月 30 日～2024 年 4 月 30 日
- ・助成額: 396,244 円
- ・実施日: 2016 年 8 月 4 日

2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)

2-1. 良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

融資事業(公1)や助成事業(公3)において、専門家の審査を受けた事業者ならびにその応援団ともいえる信頼責任者3名の知恵・知見および人的ネットワークがデータベースに登録されるため、社会的事業に資する良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積が可能となる。

■実績

・当年度新たに融資・助成事業の対象となった事業の各代表者から提供される「社会に還元できる知恵申請書」とその信頼責任者から提供される「信頼責任者申込書」に基づいた知恵・知見の蓄積および人的ネットワークの蓄積を行った。

2-2. ウェブによる情報公開による知恵・知見の自己増殖

データベースに登録された良質な知恵・知見および人的ネットワークは財団ホームページ上で公開されるため、不特定多数の人がそれらを活用し、新たな社会的事業の創出、活性化を行うことが可能となる。また、ウェブを使うことで、離れた地域間での情報の交換が可能となるため、同時多発的に知恵・知見、人的ネットワークの交換・創出が可能となる。さらにデータベースを活用すること

により、新たな知恵・知見および人的ネットワークの構築に成功した利用者に、それらをデータベースに登録してもらうよう促すことで、蓄積される知恵・知見、人的ネットワークが自己増殖する仕組みとなる。

■実績

融資事業・助成事業及び信頼責任者に提供を求めた知恵・知見データ登録者と、社会的事業や課題に関する解決策を求める事業家・個人を結び付ける web システム構築に取り組んだ。さらに、データ登録者のうち、web システムへの登録に同意した登録者を対象に、本システムの試験運用を開始した。

データ登録者数(年度末時点)

①融資事業代表者・信頼責任者 登録数	51 名
②助成登録数事業代表者・信頼責任者 登録数	193 名
知恵・知見データ登録者数(①+②)	244 名
上記のうち web システム登録者数	67 名

2-3. 信頼に基づく知恵・知見、人的ネットワーク流通の仕組み

知恵・知見および人的ネットワークのような無形資産は有形資産のように消費すれば消耗するものではなく、むしろ使用されるごとにその信頼度という価値は増加する。また無形資産を活用する判断基準のひとつはその資産の信頼度という価値である。したがって、財団のデータベース上に登録された無形資産に「信頼度」という評価軸で評価を与える仕組みをつくることで、信頼度に基づく無形資産の流通がデータベースを通して広がる仕組みとなる。

■実績

データベース上の知恵・知見情報を掲載した web システムの一部として、登録者の信頼度をポイントとして可視化し、他の登録者への貢献度に比例してサポートを受けられる仕組みを設置した。

3. 助成事業(共感助成)

豊かな人間関係の回復と向上に資する社会福祉、教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、または自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業や人間と自然の共生、地域活性化に資するような第一次産業などの社会的事業に対し助成を行う。助成先は社会的事業に関する知見(無償)や事業に関わる人脈を財団のデータベースに提供することで、それらの公的活用を促す「知恵・知見の蓄積事業(公2)」に協力する。助成審査は、財団役員等(評議

員、理事、監事)で構成される助成審査委員会が行う。また、助成対象事業の専門性を審査員が有していない場合は、適宜外部の専門家を招聘する。

本助成は、寄付者が特定の事業やテーマを指定して寄付をし、その寄付金をもとに助成を行う、「事業指定助成」という形態をとる。

■実績：実施 20 団体

(円)

助成先団体	寄付額合計	手数料	助成金額
特定非営利活動法人チームレスキュー	1,673	588	1,085
公益財団法人民際センター	0	0	0
特定非営利活動法人ユナイテッドアース	416,207	52,431	363,776
ソーシャルジャスティス基金	0	0	0
特定非営利活動法人オン・ザ・ロード	0	0	0
NPO 法人互理いちごっこ	0	0	0
特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	1,757	608	1,149
NPO 法人底上げ	128,000	18,660	109,340
一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	3,329	549	2,780
公益社団法人難民起業サポートファンド	17,337	2,382	14,955
国際環境 NGO FoE Japan	0	0	0
一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク	0	0	0
構想日本	380,000	53,370	326,630
一般財団法人教育支援グローバル基金	1,561,062	82,771	1,478,291
一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター	8,140,907	422,787	7,718,120
特定非営利活動法人キッズドア	3,091,572	348,265	2,743,307
東日本大震災子ども未来基金	25,000	1,080	23,920
一般社団法人 Japan Treasure Summit	12,500,000	1,001,680	11,853,320
一般社団法人グリーンピース・ジャパン	40,023,448	1,002,222	390,212,26
一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト	64,005,000	1,000,670	63,004,330

<各団体詳細>

・特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名：小野 聡美

所在地：愛知県瀬戸市市場町 13 番地

事業内容：東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動を行う。

・公益財団法人民際センター

代表者名：秋尾 晃正

所在地：東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F

事業内容：子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むため、ラオスの子どもたちに図書セット（約 150 冊の本が入った木箱）を贈る事業を行う。

・特定非営利活動法人ユナイテッドアース協会

代表者名： 瀧上 智信

所在地：兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-7-4

事業内容：市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う。

・ソーシャルジャスティス基金

代表者名： 上村 英明

所在地：新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル 5F

事業内容：公正な社会の実現にむけ市民の提案活動を助成、社会対話の場を創る市民ファンドの運営。

・特定非営利活動法人オン・ザ・ロード

代表者名： 高橋 歩

所在地：東京都世田谷区北沢 2-33-5 下北沢 TKSビル 3階

事業内容：インド、ウッタルプラデーシュ州のラームナガルという町で、フリースクール（無料で通える学校）「マザーベイビースクール」を運営。

・NPO 法人亘理いちごっこ

代表者名： 馬場 照子

所在地：宮城県亘理郡亘理町字南町東 10-1

事業内容：被災された地域の方への食事提供、地域内外の交流の場作りを行う。

・特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

代表者名： 若菜 多摩英

所在地：岩手県花巻市田力第 9 地割 24 番地

事業内容：寄り添い型の相談で、個々人に合った支援計画の下、ママの自律・自立を支援する。また、“サロン”を運営し、ママの自己肯定感・自尊感情を体験的に獲得する場とする活動を行う。

・特定非営利活動法人底上げ

代表者名： 矢部 寛明

所在地：宮城県気仙沼市南が丘 2-2-12

事業内容： 気仙沼市・南三陸町の高校生が地域課題に対し主体的に活動できる持続可能な環境の構築を行う。

・一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

代表者名： 仲西 祐介

所在地： 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270

事業内容： 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める。

・公益社団法人難民起業サポートファンド

代表者名： 吉山 昌

所在地： 東京都新宿区四谷 1-7-10 第三鹿倉ビル 6 階

事業内容： “難民起業家”をマイクロファイナンスと経営支援で支えている。この活動により難民個人や難民コミュニティの状況改善を実現する。

・国際環境 NGO FoE Japan

代表者名： 三柴 淳一

所在地： 東京都板橋区小茂根 1-21-9

事業内容： 地球規模での環境問題に取り組む活動を行う。

・一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク

代表者名： 池田 徹

所在地： 新潟県十日町市四日町 1426 の 6

事業内容： 日本の源流地域に息づく自然、歴史、文化、伝統、技、英知等の「たからもの」の再発見と地球環境と折り合いを付けながらも質の高いライフスタイルを探求し、信頼で繋がる未来社会を創生するための事業を行う。

・構想日本

代表者名： 加藤 秀樹

所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F

事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う。

・一般財団法人教育支援グローバル基金

代表者：藤沢 久美

所在地：東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内

事業内容：東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施。

・一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター

代表者：山本 隆

所在地：東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

事業内容：国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないものが中心。

・特定非営利活動法人キッズドア

代表者：渡辺 由美子

所在地：東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階

事業内容：親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支援を中心に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」を解決するための活動を行う。

・東日本大震災こども未来基金

代表者名：高成田 享

所在地：仙台市青葉区大町 2-3-12 大町 マンション 902 号室

事業内容：東日本大震災により親を亡くし、厳しい学習環境におかれている子どもたちが学業を続けていけるように、経済的な支援を行う。

・一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者：小宮山 宏

所在地：東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容：学術芸術のすばらしさ伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考える機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザー育成プログラムを展開。

・一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者：細川 弘明

所在地：東京都新宿区西新宿 81-13-11 NFビル 2F

事業内容：地球規模の環境破壊を止めることを目的に、環境破壊の現場調査、科学的な分析

結果に基づくレポートや代替案の作成、メディア等への情報提供、国連「総合協議資格」を利用した国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う。

・一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者： 星川 淳

所在地： 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容：「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系(浸透性)農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施。

4. 社会的事業調査・研究・事業計画・提携事業(収益事業1)

4-1. 社会貢献型商品プロデュース

社会貢献消費市場における商品プロデュース業務を中心に事業(商品)提案を行う。

■実績

・2011年の東日本大震災の経験を風化させず、未来へ伝え残していくと共に、原子力が抱えている問題を考え続けるため、ものづくりを通じた復興支援を目的とした「喜望のランプ」プロジェクトを当年5月に始動。復興支援活動を行う団体と連携し、国内外からランプシェードのデザインを募集し、ランプと併せて福島県産の菜種油を販売し、毎月11日に被災地を想いランプを灯す文化を広げることを目指した。

しかしながら、プロジェクトリリース直後の当年4月に発生した熊本地震の支援活動への注力が求められる状況と、プロジェクトによる間接支援以上に今なお直接支援が求められているとの支援関係者からの意見を考慮し、当年8月に中止するに至った。

5. 社会企業家育成事業(収益事業2)

5-1. シンポジウム、セミナー、ワークショップの開催

社会的事業および企業の先進事例の紹介や社会的事業家同士の情報交換、経営・運営における諸問題に関する相談などを目的としたシンポジウム、セミナー、ワークショップを開催する。

■実績

収益を目的とせず、社会的事業者の育成、社会課題に対する啓蒙及び寄付者・参加者獲得やコミュニティ形成を目的とした取り組みを行った。

A. ソーシャルシネマ・ダイアログ

社会課題を扱った映画を上映後、その映画に関係する社会的課題についてのダイアログ（対話）を行うイベント。以下の通り、京都にて開催した。なお、ゲストはボランティア（交通費含む実費負担）での協力を得た。

■開催実績

日程	開催場所	上映映画・テーマ	ゲスト	参加者数
1 月 11 日 (月・祝)	京都	「北の国から～始まりと'87初恋～」 今"家族"を考える	林原博光 氏(NPO 法人 C・C 富良野自然塾 副塾長)	36 名

B. そもそも談義

世の中の様々な存在や事象について、「そもそもそれはどういうことだったのか」という視点で対話を行い、現在の社会課題の本質に迫るイベント。以下の通り京都にて3回、北九州市にて1回、計4回開催した。なお、スピーカーは全て熊野英介財団理事長が務めた。

■開催実績<京都>

日程	テーマ	参加者数
3 月 5 日(土)	そもそも家族とは	22 名
5 月 14 日(土)	そもそも自由と平等とは	20 名
8 月 6 日(土)	そもそもエネルギー・資源・食料とは	25 名

■開催実績<北九州市>

日程	テーマ	コーディネーター		参加者数
10 月 24 日(月)	そもそも談義番外編 「くるま座で語り合おう Kumano 座談義」	山口典浩 氏	社会企業大学・九州校 校長	19 名

C. 信託資本起業塾

昨年に引き続き、熊野英介財団理事長を塾長として、心の思いを形にする技術としての社会的事業を学ぶ企業家育成塾「A-KIND 塾(あかいんど塾)」第2期を開講した。社会人経験者及び、起業もしくは正規雇用経験がある学生を対象に、「KIND＝親切的な、優しい、思いやりのある、親切で、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手よし・買い手よし・世間よし・未来よしという「四方よし」の持続可能な社会貢献を行うことで、企業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。ビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師・起業家同士で学び合う場を提供した。当年度以降、本塾卒業生を中心とした社会起業家コミュニティを形成していく。

■開催実績

- ・開催日： 4月27日(水),5月25日(水),6月22日(水),7月27日(水),8月24日(水),9月28日(木),10月26日(水),11月3日(木・祝),12月21日(火) 全9回
- ・受講者数： 20名
- ・成果： 4チームに分かれ、フリーマーケットにて「社会的行動動機による購買動機」を促す「ライフスタイル必需品」の提案・販売を行った。

D. 政策形成講座

行政職員を対象として、様々な社会課題を抱える日本の各地域において、市民の当事者意識を育み、市民が社会的事業を通して社会課題の解決に取り組みやすい環境を整備するための政策形成を学び合う場として、2年連続受講型の「未来設計実践塾」を開講した。

■開催実績

- ・開催日： 6月15日(水),7月20日(水),8月17日(水),9月21日(水),10月19日(水),11月16日(水),12月14日(水) 全7回
- ・受講者数： 9名
- ・成果： 受講者全員を1チームとして理想社会のモデルづくりに取り組み、発表を行った。

E. 社会的事業創出イベント

昨年に続き、自己と社会の欲求の重なりを発見し、仲間と共に社会的事業を創出のワークショップを計5回開催した。

■開催実績

- ・開催日： 1月21日(木),2月18日(木),3月17日(木),4月21日(木),6月16日(木)
- ・参加者数： 各回10～15名程度

F. 信託デイ

毎年1回、事業目的広報のために京都で実施していたが、当年からは、議論やプレゼンテーション、学びの場ではなく、目指す社会への行動指針を年毎に出し、ブラッシュアップしていく場と位置付け、開催した。その指針を出すため、財団関係者やこれまでの財団活動への参画者である組織・個人を対象とした招待形式で開催し、財団メンバーが考えを述べ合い、参加者と話し合いを深めるプログラムを実施。主体的に財団関係者が集う場として、これまで開催したイベントの中で最も熱意のある議論が行われ、参加者満足度の高い場が実現したと共に、財団活動を通して実現を望む未来について参加者全員から意見を募り、これを基に後日、活動ビジョンを作成した。なお、ゲストはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日： 11 月 19 日(土)
- ・タイトル： 第 4 回信託デイ「創る自由が希望となる ～選択する不自由からの解放～」
- ・参加者数： 105 名
- ・参加者満足度(「とても興味深かった」もしくは「興味深かった」と回答した人の割合)： 96.7%

・プログラム：

【第 1 部-①】	「そもそも信託資本とは？ ～信用崩壊している社会を超えて～」
登壇者	スピーカー ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第 1 部-②】	「誤作動する社会、これからの時代 ～信託資本財団メンバーによる大談義～」
登壇者	スピーカー ・高橋 陽子 氏(公益社団法人日本フィランソロピー協会理事長 / 当財団評議員) ・田中 優 氏(未来バンク理事長 / 当財団評議員) ・野村 彰男 氏(NPO法人青少年育成支援フォーラム理事長 / 国連グローバル・コンパクト・ジャパンネットワーク理事 / 当財団評議員) ・岡村 充泰 氏((株)ウエダ本社代表取締役 / 当財団理事) ・高 亜希 氏(NPO法人ノーベル代表理事 / 当財団理事) ・榎下 伸一郎 氏(榎下公認会計士事務所代表 / 公認会計士 / 税理士 / 経営学修士 / 当財団理事) ・木村 充里 氏(弁護士 / 当財団監事) ・佐伯 剛 氏((株)かぜたび舎代表取締役 / 風の旅人編集長 / 一般財団法人オレンジクロス理事 / 当財団シニアフェロー) ・鈴木 菜央 氏(NPO法人グリーンズ代表 / greenz.jp編集長 / 当財団シニアフェロー) ・土谷 貞雄 氏((株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮

	<p>らし研究者 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮本 武 氏(けいはんな里山の会会長 / 当財団シニアフェロー) ・星川 淳 氏(一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト代表理事 / 当財団シニアフェロー) ・熊倉 聖子 氏(おおきなかぞく発起人 / 当財団フェロー) ・松榮 秀士 氏(PaKT 統括 / 勉強した先が見える塾マナビノバ塾長 / 当財団フェロー) <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢部 寛明 氏(アショカジャパン ユースベンチャー・リーダー / NPO法人底上げ代表理事 / 当財団フェロー) ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第2部-①】	「理想を形に！ ～これからの市民社会～」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深尾 昌峰 氏(公益財団法人京都地域創造基金理事長) ・熊野 英介 氏(当財団理事長)
【第2部-②】	「シンライノテーブル ～未来市民の民主主義～」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可児 卓馬 氏(公益財団法人京都地域創造基金事務局長) ・西島 有紀(当財団事務局スタッフ)
【第3部】	「信頼衆 ～私たちが未来だ！～」
登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎 テトラ 氏(構成作家 / 一般社団法人ワールドシフト / ネットワークジャパン代表理事 / 当財団シニアフェロー)

G. 協働イベント

社会的企業と連携して、社会的事業の魅力伝える学生向けイベントを開催。

従来の就職活動のような自己分析・企業分析・業界分析ではなく、独自のプログラムを用いた「社会分析」を通して未来社会を考え、社会人と共に社会的事業を考案するワークショップを実施することにより、社会的事業での仕事を模擬体験し、そのやりがい伝えることを目的とした。

共催企業の採用エントリー者数増加に貢献すると共に、社会的事業の本質的な魅力を伝えるプログラムとして、他の社会的企業にも提案可能な採用イベントとしてモデルを確立することが出来た。

■開催実績

- ・開催日： 2月14日(日)
- ・タイトル： 未来設計会議
- ・共催： アミタホールディングス株式会社
- ・参加者数： 16名
- ・委託金収益：200,000円

・プログラム：

【WORK 01】	社会分析
内容	「人口動態」「技術革新」「社会的価値」の3つの視点から人類の歴史と産業がどのように変遷してきたのかを学び、いま私たちが直面している課題の原因を徹底的に探る。そして現代の社会情勢が未来にどのような影響を与え、世界情勢・産業・人々の生活の常識がどのように変化するのか予測を立てる。
【WORK 02】	未来設計
内容	社会分析によって導いた未来予測を基に理想の未来を考える。そして理想の未来を叶えるための未来設計図を未来デザイン企業アミタグループの社員とともに描き、未来開拓を行う。
【WORK 03】	座談会
内容	アミタグループ社員から企業や地域の最前線の取り組み、世の中の動向を知る。また、これからの社会で求められる仕事はどのようなものなのか、今の時代からできることを仲間たちと模索する。

5-2.書籍販売

財団の取り組みや成果を書籍として販売することにより、より多くの人々に信頼に基づく知恵・知見の交換や、人的ネットワーク構築の仕組みを知らせるとともに、それが社会的事業の創出、活性化につながるという理解を促進することができる。

■実績

1.シンポジウム、セミナー、ワークショップの開催 に尽力し、本業務の実行には至らなかった。

6. 会員、寄付獲得事業

6-1. 会員制度

昨年度の会員制度「信頼衆」を廃止後、新たな参画方法として、**2-2. ウェブによる情報公開による知恵・知見の自己増殖**の一貫として、融資事業・助成事業及び信頼責任者に提供を求めた知恵・知見データを基盤とし、知恵・知見等の無形資産の交換を可能にするwebシステムを構築した。

来年度以降は、融資事業・助成事業及び信頼責任者に限らず一般にも登録者を募り、上記webシステムを当財団活動への新たな参加枠として、社会的事業に関心を持つ人々のネットワーク構築を目指す。

6-2. 寄付獲得

現事務所の町屋に併設されているコミュニティスペースで定期的開催されるプログラムに、共催として運営協力を行うことにより、プログラム参加者から「ありがと本」プログラムを通じた寄付獲得に努めた。

■ 共催プログラム開催実績

【共催プログラム①】	活動内容	開催実績
ともいき京都 (主催団体:ともいき京都)	ともいきは、がんを体験した人々が周りのいのちと共に生き、環境との調和をめざしつつも、多様な考え方や生き方が尊重されるネットワーク(人間関係の広がり)創りを目指し、がんを体験した人が、自己の体験や思い、生き方について自由に語れる場を提供する。	1月～12月 毎月第2・第4金曜日 計24回
【共催プログラム②】	活動内容	開催実績
くらしの学び庵 中級コース (主催団体:京都大学こころの未来研究センター)	社会の中で『自分の力』を発揮し、いきがい、やりがい感を持てる場の創出＝「心の教育の場」を提供していくためのプログラムとして、老いや介護、健康や生活の知恵に興味がある方を対象に、様々な分野の講師を招いた講義や演習を実施しながら、知識のステップアップと周囲への関わり方、つながり力を創出する。	11月13日,11月27日,12月4日,12月18日,12月25日 各日曜日 計5回

Ⅲ. 管理部門

1. 業務執行体制

・2015年12月21日に開催した理事会での決定に基づき、北九州市を拠点とする「中国・九州支部」設立した。担当地域は九州地方7県(沖縄県を除く)および広島県・山口県として、来年度以降、本格的な活動を開始する。

・昨年に引き続き、現事務所に併設されているコミュニティスペース及び管理者であるアマタホールディングス株式会社のミュージアムの委託運営を請け負うことにより、市場よりもはるかに低い家賃設定で活動拠点を確保することが出来た。

・設立より7年が経過し、活動の実態に対する役員関係者の理解が深まったと判断されることから、定款第3章第1節第19条2における「評議員選定委員」の選任について、これまでの事務局員1名および外部委員2名の合計3名による構成から、評議員1名および外部委員2名の合計3名での構成に変更した。

また当年の評議員選定委員の改選に伴い、新たな評議員選定委員(評議員枠)として、吉久保誠一氏が就任した。

・昨年度に引き続き、webサイトや印刷物等を通じた広報活動の充実化をはかるため、1年間、デザイナーと業務委託契約を締結した。

以上